

令和2年度宇都宮市冒険活動運営協議会会議議事録

○日時 令和3年2月4日(木) ※新型コロナウイルス感染症の感染予防のため書面開催

○会場 宇都宮市冒険活動センター 会議室

○出席者 ※資料送付者

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| ・石塚 諭委員 (宇都宮大学) | ・池田 幸枝委員 (市レクリエーション協会) |
| ・平野 勝委員 (篠井地区ゆたかなまちづくり協議会) | ・月橋 春美委員 (県キャンプ協会) |
| ・大塚 和夫委員 (県林業センター) | ・平松 和巳委員 (市小学校長会) |
| ・坂内 剛至委員 (有限会社ネイチャープラネット) | ・半田 哲司委員 (市中学校長会) |
| ・後藤 正洋委員 (市PTA連合会) | ・森嶋 礼奈委員 (公募) |
| ・池田 誠委員 (市子ども会連合会) | ・入江 里美委員 (公募) |
| ・櫻井 政義委員 (市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会) | |

○公開

○会議概要

- 1 報告事項
 - (1) 冒険活動センター概要
 - (2) 令和2年度事業報告
 - (3) 新型コロナウイルス感染症対策
- 2 協議事項
 - (1) 令和3年度事業計画(案)
 - (2) 新型コロナウイルス感染症対策

発言要旨 ※意見書にて頂いた御意見を掲載しております。

○議題

- 1 報告事項
 - (1) 冒険活動センターの概要

石塚委員	今年度は特にコロナ対応等で例年以上に想定外の業務が増加したのではないかと推察致します。職員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。来年度以降、学校受入事業が例年並みに宿泊で実施できるとしても、感染対策等は継続されると思います。そうすると業務内容が増えることとなりますので、人員増(または業務削減)を検討されるなど、安定的な業務遂行のための手立ても必要になるかと考えます。大学生の活用等も含めて地域人材の活用も視野に入れる必要があるかと思えます。
事務局	大学生の活用等についてのご提案、大変ありがとうございます。例年、当センターの人員確保については課題となっているところであり、県内各大学へ出向き募集をさせていただいておりましたが、今年度につきましてはコロナ禍のため、実施できませんでした。今後とも大学等との連携を図り、大学生を活用するとともに地域人材の活用についても検討して参ります。
櫻井委員	新型コロナ対策には、大変ご苦労されていると思いますが、より一層の対応をお願いします。

- (2) 令和2年度事業報告について

石塚委員	①学校受入事業に関して、内容が大幅に変更になり対応等で大変なご苦労もあったかと思えます。多くの学校を対象にしているため、全体的な視点から「日帰り実施」を検討され実施できたことは大変評価できると考えます。 ②主催事業に関しては多くが中止になったとのことですが、当時の状況から考えて妥当な判断であったと思えます。その中で「もりであそぼう(日帰り)」が実施できたことは評価できる点だと考えます。 ③一般受入事業に関しては、利用人数が大幅に減少していますが、今年度の状況では妥当な数値であると考えます。
大塚委員	コロナ禍の状況において、感染対策をしながら事業を実施されていると思いますので、特に意見・質問はありません。

坂内委員	さまざまな対応・対策に追われ、多大なご苦労があったこと、また苦渋の決断もあったことと、お察しいたします。
池田幸枝委員	新型コロナウイルス感染症の影響にて、学校受入事業は全校日帰り実施となり、主催事業は、12月の「もりであそぼう」以外は全中止となり、参加希望者の皆様の無念の思いが伝わりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染を防御するに至っては適切な判断であったと思います。
平松委員	今年度のコロナウイルス感染予防のための対応・対策、適切であったと思います。
森嶋委員	学校の宿泊学習がコロナでどうなるかと心配にしていたが、全校日帰りで実施という事で、完全中止とならず、良かったと思います。
入江委員	主催事業に関して中止になった4つの事業や施設の最大利用人数は適当であったと思います。小中学校の冒険活動教室においては、宿泊から日帰りに変更となり、全ての日程調整や活動内容の変更など、実施に至るまでとても大変だったことと思います。

(3) 新型コロナウイルス感染症対策について

石塚委員	<p>①概要(目的):独自のガイドラインを作成されたことは、必要かつ評価すべき点であると考えます。国や県、他機関の指針を参考にされたとのことで内容も妥当なものになっていると考えます。今後も特に他機関との連携を継続していただけますことを期待しています。</p> <p>②主な内容:感染対策として重要な点が網羅されていると判断しました。特にレストラン利用に関しては大変なご苦労があったと推察します。学校の規模によっては、これまでの方法を大幅に変える必要も生じることを伺いました。その際には学校側の協力体制も必須になると考えます。そのような対応に関しても学校側に理解を求め進めていくことが肝要かと思えます。</p> <p>③その他:ガイドラインについては、個別の対応事例の蓄積も役立つ資料になると考えます。バス利用に関しては、限界もあると思いますので、保護者の理解や協力も必要に応じて求めていくことが望ましいと考えます。</p>
事務局	バス利用に関しましては、学校からもバスの増車依頼の要望が上がってきておりますが、現状の運行で感染対策が行えているという認識のもと増車は行っておりません。令和3年度においては、感染症対策につきまして、保護者宛リーフレット、保護者説明会用動画、引率教員への指導者研修会等で周知し、ご理解、ご協力を図って参ります。
大塚委員	宇都宮市で決めた「冒険活動センターにおける新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に基づき実施されたのであれば、特に意見・質問はありません。
坂内委員	施設からの感染者およびクラスターの発生が無かったことは、対策がしっかりと講じられ、皆さんがしっかりと遵守しながら正しい行動をとった証だろうと思います。
後藤委員	ガイドラインの作成ありがとうございました。
池田幸枝委員	新型コロナウイルス感染症の最中、職員の皆様の御苦労された様子がよくうかがわれました。皆様の徹底した新型コロナ感染症対策のお陰で、感染者を出す事も無く、新企画を予定通り実施されました事、大変素晴らしい結果であったと思います。今後とも、ガイドラインに従いまして、更なる活動を実践していただきたいと思えます。
平松委員	送迎バスを増やし、バス内の密を避ける対応はできなかったでしょうか。遠足・校外学習等ではバスを増やす対応をしたものの、冒活の送迎においては、バス内は密の状況でした。(予算の問題等、課題はあると思いますが・・・)
森嶋委員	のびのびとしたアウトドアでのフィールドワークの為の施設だが、コロナ対策をしなければならず、活動の制限もあり、指導者も子供達も大変だったと思う。
入江委員	指導員の方はマスクを着用されて活動を支援されていたと思いますが、状況によっては、危険を知らせる為に大きい声を出す場面もあったと思います。しかし、マスクを着用していると声が通りにくくなり、色々な場面で苦労されたことと思います。その点について何か対策をされたりしたのでしょうか。
事務局	職員については、季節に合わせ、マスクまたはマウスシールドを装着し、児童生徒との距離を保ちながら活動支援にあたっております。児童生徒全体へ話をする際は、静かな状態になってから説明をしたり、予想される危険については、活動を始める前に注意喚起したりする等なるべく大声を出さないよう共通理解を図っております。

2 協議事項

(1) 令和3年度事業計画(案)について

石塚委員	①学校受入事業に関して、1泊2日で実施、2月を予備日としての計画に関して異存ございません。 ②主催事業に関しては人数を調整して実施するという点、また、「もりであそぼう」の対応に関しても異存ございません。 ③一般受入事業に関しても異存ございません。 ①、②、③ともに現状では最善の計画であると思います。ただし、コロナの状況等によっては、中止等も含めた大幅な変更を想定しておく必要があると思います。
事務局	各事業の実施の可否につきましては、県や市の警戒レベル、学校の休校や分散登校等の状況を踏まえ判断いたします。
平野委員	原案に賛成します。
大塚委員	「冒険活動センターにおける新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に基づき作成されているのであれば特に意見はありません。 質問：ロッジの最大利用者人数は、通常時の50%にしているのでしょうか。ロッジC棟が50%となっていないのは、ガイドラインでは問題がないのですか？
事務局	ロッジの最大利用人数については、定員の50%を目安に設定しております。ロッジC棟につきましては、A、B棟と間取りが異なり、通常は1部屋6人を定員としておりますが、ベッドの設置距離はA、B棟と同等であり、就寝時にソーシャルディスタンスの確保が可能であることから、4人での利用が可能と判断したため、50%以上となっておりますが、ガイドライン上は問題ありません。
大塚委員	ガイドラインに従って計画されているのであれば、問題ありません。ありがとうございました。
坂内委員	何が正解で、何が不正解なのか分からないニューノーマルの世の中で、目に見えないものに対するリスクを抑えながら事業を実施することの大変さが、身に染みて分かります。本案に賛同いたします。
池田幸枝委員	本年も新型コロナウイルス感染症の影響により被害が免れられませんが、学校受入事業は分散実施により、1泊2日、主催事業は定員減少という事になり、少し希望の光が見えてまいりました。宇都宮市冒険活動センターでの貴重な体験ができます事は、大変喜ばしい限りです。協調性、思いやり、仲間意識等々、深い絆をつなげてほしいと思います。新型コロナウイルス感染症の収束を願っております。
月橋委員	承認します。
平松委員	「1泊2日での実施」「2月以降全日予備日」という対応での事業計画、適切と考えます。
森嶋委員	利用人数制限で、学校の宿泊学習が2泊から1泊にせざるを得なかった事は、本当に仕方がないと思う。それでも子供達が1泊2日の中で、体験できる環境を整えてくれる施設の皆様には感謝しかない。
入江委員	予備日を多く設けていることは、いつコロナやインフルエンザで学級閉鎖になるかと不安を抱える学校側、親としてはとても安心できると思います。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策について

石塚委員	報告事項の(3)②でも書かせていただきましたが、学校受入事業に関しては、学校側の協力体制が必須だと考えます。引率教員の意識改革？(例年の通りにはいかないという)も含め、連携、協力体制の構築が必要だと考えます。
事務局	令和3年度の学校受入事業は、日帰りから宿泊に変わったことで、より丁寧な説明が必要であると考えております。学校用グループウェアを活用した「冒険活動教室実施の手引き」(冒険活動教室実施上の留意点、プログラム作成上の留意点、必要経費等を記載したもの)の掲載、引率される先生方を対象とした指導者研修会の実施、中学校への打合せ訪問等を通して感染症対策を周知し、連携を図って参ります。
平野委員	個人に求める感染防止対策「手洗い、消毒、マスクの着用等の励行」を掲示し、常に緊張感を持って行動することを促す。
大塚委員	「冒険活動センターにおける新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に基づき作成されているのであれば特に意見や質問はありません。
後藤委員	学校と連携強化していただき、分散化等を進め感染対策していただければと思います。
月橋委員	承認します。
平松委員	今後の新型コロナウイルス感染症の状況にもよりますが、活動種目の制限は当分の間、必要かと思えます。レストラン利用のガイドラインの周知徹底が必須と思われます。

事務局	レストラン利用については、学校宛「冒険活動教室実施の手引き」にて示すとともに、指導者研修会においても説明いたします。
半田委員	冒険活動教室の意義や教育的効果は十分あると思っています。また、できれば宿泊を伴う活動を児童生徒に体験させたいという思いも当然あります。 新型コロナウイルス感染症については、もし無症状感染生徒がいた場合、ロッジまたはテントでの宿泊、レストランでの食事、入浴等を人数を制限して実施すると考えますと、ほぼ家庭での生活と同様で、感染が拡大する可能性があります。しかし、そこまで考えると、何もできなくなるのが現実だと思います。そこで、「実施する」という場合は、冒険活動センターでの感染予防対策はきちんとできているとして、各小中学校においての事前の健康観察等が重要になってくると思います。 例えば、(あくまでも例えの話ですが) 1, 2週間前(1週間前)からの体温測定や健康状態を記入できる用紙を作成し記入する。 2, 数日前に発熱等があり、その後熱が下がった場合は、参加については医師の判断に従う。 3, 当日の発熱の場合は、参加を見合わせる。 などの対応を各学校が行い、かつ心配や不安がある家庭は参加しなくてもよい、などの共通理解が図られると良いのかと思います。また、県または市の警戒レベルの状況によっては、実施可否の基準を考えておくのも一つかと思えます。
事務局	新型コロナウイルス感染症対策につきましては、国、県、市の指針やガイドラインに基づき令和2年度の冒険活動教室を実施してきたところですので、令和3年度におきましても、今年度同様の対策を基本として、感染症対策を徹底します。 ご提案をいただきました各学校における対策や共通理解につきましては、冒険活動教室は通常の学校生活の延長であると認識しておりますので、各学校の実情に応じた対応をお願いしているところです。 また、実施の可否につきましては、県や市の警戒レベル、学校の休校や分散登校等の状況を踏まえ、冒険活動教室の実施の可否を判断いたします。
森嶋委員	随時ガイドラインの改訂、勿論了解です。

(3) 「その他」について

石塚委員	詳細にご説明いただきありがとうございます。例年になく大変な状況の中で、何とか活動が実施できているのも職員の皆様のご尽力の賜物と理解することができました。引き続きどうぞよろしくお願い致します。
池田 誠委員	新型コロナ対応等、大変ご苦勞様です。今後ともよろしくお願い致します。
月橋委員	来年度は、状況に応じての新型コロナウイルス感染症対策を充分に行いながら、子どもたちのために、少しでも、学校および一般の受け入れ事業が実施できると良いなと思っています。
平松委員	送迎バスを増やし、バス内の密を避ける対応を検討してほしいと思います。
事務局	バスの配車については、市教委内で検討した結果、感染症発症リスクを回避できると判断したため、市教委の主催事業(冒険活動教室、スケート教室、施設めぐり)におきましては、令和2年度と同様の配車となりました。配車されるバスにつきましては、文部科学省「修学旅行等の学校行事におけるバスの利用について」にて示されているとおり、換気性に優れ、消毒が徹底されています。 レストラン利用、バスの配車を含めまして感染対策につきましては、先生方に指導者研修会にて説明、該当学年の保護者へリーフレット配布、希望校へ説明会の実施を通し、周知して参ります。
森嶋委員	コロナ禍でも、出来る限り対策をし、来館者を受け入れる体制であるという事が分かり、利用者の一人としても、頭が下がる思いです。
入江委員	久しぶりに冒険センターに行った時に感じたことなのですが、公園内の案内掲示物などが見た瞬間に「かわいいな！見やすいな！」と胸がときめきました。水場回りや薪小屋など、使いやすいようきれいに整備されていて安心感が持てました。工作室の利用について、どんな道具があつてどんな物が作れるか、知らない人が多いと思います。もう少し細かく分かりやすく情報発信できれば、利用者は増えると思いました。